

優

柳

江

色

緑

欧陽詢(唐)の九成宮醴泉銘から字を集めて、  
倣書(背臨)で書いています。九成宮醴泉銘は  
「倣書の極則」と評されている。字形は端正、  
タテ長、厳格で、切れ味鋭い筆法、背勢で  
直線的である。全体に、上に狭く、下に広い  
特徴がある。

柳色緑江を侵す

柳も漸く緑をまして来た。

(李商隱の詩)